



いすぐみだより 12月



尚徳福祉会 とちょう保育園

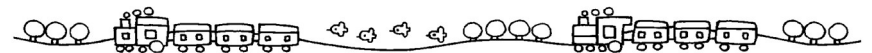
どんぐり、落ち葉、おさんぽだいすき!

先月に引き続き、どんぐりニュース!

秋から冬にかけての今の時期、中央公園にはどんぐりがいっぱいです。毎日お散歩に向かう途中で、どんぐりを見つけると、ささっと近寄ってひとつ、ふたつ、、、ぎゅっと手に握って嬉しそうなお顔で歩く姿が見られます。

中央公園にはクヌギやマテバシイ、コナラ、シラカシといったさまざまな種類のどんぐりが成るブナ課の樹木がたくさんあります。毎日のように公園に行く子どもたちは、どこにどんぐりがたくさん落ちているかをちゃんと知っていて、毎日のお散歩の帰り道そのエリアに行くと、わあ!と走りだし、せっせとどんぐり拾いに精を出すのでした。たくさん拾って、みんなで一つのビニール袋に入れて「いっぱい!」「おっかい!」「帽子(殻斗のこと)あった!」と満足して帰っていきます。

12月に入ると、どんぐりはだんだん少なくなり、次は落ち葉の季節です。かさかさした葉っぱを両手いっぱいを持って上から散らしたり、お布団のようにかけてみたり、「くださいな」とお店屋さんごっこでのパンやジュースになったり・・・どんぐりや落ち葉での遊びにみんな夢中です。



どんぐりのことがよくわかる写真絵本「どんぐりころころ」(ひさかたチャイルド)が今、クラスで大人気です。両手いっぱいどんぐりが乗っかっている写真を見て、子どもたちも同じように手を広げ、自分の手にどんぐりが乗っている気持ちになっている姿がとってもかわいらしいです。



舞い落ちる木の葉や木の実、冷たい風に、冬の訪れを感じる季節となりました。子どもたちがそれぞれ自分のペースで大きくたくましく成長してきたこの1年を、喜びと共にかみしめながら締めくくりたいですね。

そして何より日頃から優しく温かく見守って下さいまして、ありがとうございます!!今年も残すところあと1ヶ月となりましたが、寒さに負けることなくたくさん体を動かし、元気に過ごしていきたいと思ひます。



12月の目標

○保育士や友だちと見立て遊びを行い、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

→フェルトや布玩具を食べ物に見立ててご飯をつくり、お人形に食べさせたり、砂場でアイスやドーナツ型でお店屋さんごっこをしたりと、見立て遊びが上手になってきました。自分が体験したこと、自由にイメージしたものなど、様々な見立て遊びをこれからも楽しんでいきたいと思ひます。

○衣類の着脱を保育士と一緒に、又は見守られながらやってみようとする。

→お着替えやオムツ交換の際、自分でズボンを脱いでみようとする姿がみられるようになってきました。時に前後が逆になったとしても「じぶんで」やろうとする気持ち、「じぶんで」できた嬉しい気持ちを大切にしていきたいと思ひます。

